

1818 Society Japan Chapter

准会員制度および勉強会について

2025.03.30 第16版



The 1818 Society
The Association of World Bank Group Alumni

世界銀行グループに勤務した日本人 OB / OG 会の公式サイト

The 1818 Society は
世界銀行グループ退職者の世界的な親睦ネットワークです
世界銀行本部の地番 1818 H Street に因んでいます



**1818
Society**
JAPAN

目次

- 当会の紹介と准会員制度 p3
- 賛助会員への入会方法 p4
- 最近の入会者のご紹介 p5
- 当面の勉強会予定 p6
- 勉強会講師へのご説明 p7
- 研究者等の方々へ p8
- 准会員制度の公式資料 p9
- 幹事会 p10

当会のご紹介と准会員制度

1. 【1818 Society Japan Chapterの概要】現在、**会員222名**の1818 Society Japan Chapter は、世界銀行の日本人職員OB/OG会で、2023年6月までは、世界銀行の勤務経験者だけで組織・運営されていました(現在の**正会員141名**)。
2. 【賛助会員の制度】2023年7月の総会において、会則にある准会員制度の規定に基づき、世銀の勤務経験のない方でも入会の対象となる、「35歳以下の賛助会員制度」が発足し、更に2024年7月には、35歳超にも制度が拡充されました。現在54名の方が賛助会員になられており、くわえて当会の勉強会講師になられた客員会員(下記第4項参照)が20名いらっしゃいます。以上、**准会員合計が81名**です。
3. 【賛助会員制度の趣旨】当世銀OBOG会は、世銀での勤務を懐かしみ仲間で懇親するだけでなく、主として日本の次世代のために、①自分たちの得た経験を伝えていく、②環境・社会課題を担う新しい有識者・リーダーから知見を提供頂く機会を創る、③グローバルな課題の解決に向けて貢献しうる人的交流機会を提供することを、本会の重要な目的として本制度を起ち上げました。
4. 【勉強会講師は客員会員になれる】オンライン勉強会等で講師になって頂いた方には原則として客員会員になって頂きます。当初の2年間の年会費は無料、その後は3000円。但し、2年後にご本人の意思で退会頂くことも自由です。
5. 【准会員のメリット】準会員(＝賛助会員＋客員会員)は、すべての活動(勉強会多数・総会(毎年7月初旬頃)・懇親会(年末等の企画))に参加できます。但し、総会での議決権だけはありません。なお、退会はご本人の意思でいつでも行えます。
6. 【年会費】賛助会員の35歳超は3000円、35歳以下は1000円です。客員会員は当初2年間会費無料。
7. 【准会員には入会金は不要】正会員とは異なり、入会金は不要です。
8. 【会の詳細】当会の詳細については、当会HP(特に活動報告のタブの欄)をご参照ください。
<https://www.1818societyjapan.com/>
9. 【申込宛先】入会申込先：1818societyjapan@gmail.com 幹事会事務局 安間匡明もしくは川口幸一宛
10. 【会費振込先】年会費受取口座
三井住友銀行 銀行コード0009 小石川支店 店番号813 普通預金3898964
口座名義 1818 Society Japan Chapter 会長 安間匡明

賛助会員への入会方法

(事前注意) 世界銀行勤務経験のある方は、賛助会員ではなく正会員への入会を検討ください。この場合、年会費2,000円と別に入会金1,000円がかかる点にご留意ください。55歳以上には割安な10年分会費前納の永世会員制度もあります。

1. 1名の正会員の紹介があれば、賛助会員になります。
2. ①～④の情報を事務局までご連絡ください。①氏名、②登録メールアドレス、③世銀勤務経験等の有無(無い方は無しとして登録ください)、④現職勤務先と役職
3. 会員申込先: 1818societyjapan@gmail.com 幹事会事務局 安間匡明もしくは川口幸一宛
4. 年会費: 3000円(賛助会員カテゴリー2)、但し35歳以下(賛助会員カテゴリー1)は1000円。
5. 年度(4/1～3/31)の途中入会の場合には、4半期割となりますので事務局までお問合せください。例えば、9月15日入会は年会費の75%、10月15日入会なら同50%、1月15日入会の場合には、同25%をお支払い頂きます。
6. 会費入金を確認次第、会員として登録し、以後のイベント案内等を登録アドレスに配信開始します。
7. 年会費受取口座
三井住友銀行 銀行コード0009 小石川支店 店番号813 普通預金3898964
口座名義 1818 Society Japan Chapter 会長 安間匡明

最近の新会員ご紹介（一部）

- A様 客員会員 財務省出身 前中東欧国駐箚大使（勉強会講師）
- B様 賛助会員 国際協力機構職員
- C様 賛助会員 東京大学経済学研究科博士課程 海外留学予定
- D様 賛助会員 PwC勤務
- E様 賛助会員 東京大学工学系研究科 修士1年
- F様 客員会員 ADB元局長、建設会社顧問（勉強会講師）
- G様 客員会員 京都大学公共政策大学院・経済学研究科 教授（勉強会講師）
- H様 客員会員 ベンチャー企業役員 元IFC勤務（勉強会講師）
- I様 客員会員 (株)日本政策投資銀行課長（勉強会講師）
- J様 客員会員 現役・世界銀行副総裁(勉強会講師)
- K様 賛助会員 中央大学経済学部准教授
- L様 賛助会員 日本郵船(株)職員
- M様 賛助会員 上場企業社外役員 元大手商社副社長
- N様 賛助会員 上場企業社外役員 元大手商社副社長
- O様 賛助会員 国際協力機構役員

1818最近の講演会実績・予定（2024年8月以降：下記の5番以外はオンライン）

1. 8月3日(土) 10:00～ サグリ(株)CFO 石坪弘也様 衛星画像による農業改革支援
2. 8月26日(木) 20:00～ 日本政策投資銀行ストラクチャードファイナンス部課長 保田真一様 洋上風力発電
3. 9月10日(火) 20:00～ JICA ミャンマー所長 工藤勉様 混迷を深めるミャンマー情勢の現状と今後の見通し
4. 9月24日(火) 20:00～ 公益財団法人 国際通貨研究所理事長 渡辺博史様
5. 9月26日(木) 18:00～19:30 日立製作所 前CFO・副社長 河村芳彦様 日立製作所の経営改革(リアル開催)
6. 10月10日(木) 20:00～21:30 IFCタンザニア事務所 愛敬千夏様 IFCによるアフリカのアグリビジネス
7. 10月18日(金) 20:00～21:30 (株)RIN代表取締役河島春佳様ロスフラワーのサーキュラーを実現する取組み
8. 11月11日(月) 20:00～21:30 インフラ戦略アドバイザー工藤克典 我が国の上下水道事業の現状と経営課題
9. 11月16日(土)10:00～11:30 上月豊久氏(前ロシア連邦駐劬特命全権大使)ロシア情勢とウクライナ侵略
10. 11月22日(金)20:00～21:30 新山直弘氏、合同会社ツギ 代表、「TSUGIによる越前鯖江における産業観光の取組」
11. 11月23日(土) 10:00～11:30 SIIFインパクトキャピタル代表取締役梅田和宏様・三浦麗理様
12. 3月8日(土)10:00～11:30 コンゴ民主共和国の生態系の現状と課題 アフリカ等紛争国の生態系専門家 品川夏乃様
13. 3月15日(土)10:00～11:30 松田千恵子様 サステナブル経営とコーポレートガバナンスの進化
14. 4月5日(土) 10:00～11:30 佐藤徳之様 世界経済フォーラム2025年グローバルリスク報告書に見るサイバーリスク及びAiの将来課題とその対応
15. 4月19日(土) 10:00～11:30 原昌平、JICA理事、JICAの現状と課題(仮題)
16. 5月10日(土) 10:00～11:30 佐々木仁様(デロイト) グローバルサウス諸国におけるPPP(Public-Private Partnership)の最新動向
17. 5月28日(水) 20:00～21:30 宮崎裕子様、長島大野常松法律事務所顧問、元最高裁判事 (当初の日程がこの日に変更となりました)

勉強会講師の招聘と講師へのお願い

1. 勉強会講師になって頂ける方を事務局では常時受け付けております。講師謝礼は原則として用意がありません(以下第13項参照)。
2. 講師を引き受けて頂いた方には、会を代表して会長より心より御礼申し上げます。
3. 勉強会のテーマは、世銀の活動対象である開発経済や援助の問題に限りません。技術のイノベーション、先進国の環境・社会課題解決、その他日本国内の社会問題、趣味・娯楽など広く、会員の関心のありそうな内容を柔軟に対象にしています。
4. 勉強会は、原則としてオンラインで開催しておりますが、テーマ・時期・講師のご都合によっては、リアルでも開催いたします。
5. オンラインは、①土曜日の午前10:00～11:30、もしくは、②平日の夜20:00～21:30を標準的な開催時間帯としています。講師のご都合と司会を務める幹事の予定のマッチする日を選ばせて頂きます。毎回の参加者数はテーマによりませんが、10～30名程度です。
6. オンラインはzoomを使います。事務局にて設定します。
7. 講師には50分程度お話頂き、その後、質疑応答と議論を40分程度行います。合計90分です。時間割は柔軟にご相談に応じます。
8. ご説明はパワーポイント資料をお使い頂くことが標準的ですが、それ以外の方法でも、講師のご都合に合わせて資料準備をご検討ください。
9. 開催通知は、開催日の遅くとも3週間前に行い、会員174名にメールで通知します。
10. 講演後に、勉強会の開催概要(事務局作成)と投影資料(講師作成)を当会のHPに掲載します(事例はこちらをご覧ください。
<https://www.1818societyjapan.com/report/index.html>)。但し、資料の公開にあたっては講師のご要望に応じて、一部のページを非公開とする、あるいは全部を非公開とすることもできます。ご相談ください。
11. 講師のご希望やテーマ内容によっては、会員以外の方にもご案内することができます。
12. 講師との事前協議(日程や仮題設定)は、当日の司会を行う安間もしくは川口が行います。連絡先: 1818societyjapan@gmail.com 宛先: 安間 匡明もしくは川口 幸一
13. 勉強会講師の方には、当会の客員会員(2年間年会費無料)になって頂けます。詳細は、本資料p3の第4項をご参照ください。

研究者の方へ:コメント依頼目的での研究発表会

- ◆ 主として大学や研究機関の方々へお伝えします。
- ◆ 本会では、アカデミックな研究者やシンクタンクの方々が、自らの研究の成果や研究途中のドラフト等を発表して頂き、当会の会員である、世銀を含む国際機関の経験者、ビジネスの経験者、金融・ファイナンスの経験者の方々に対して、コメント・助言を求める機会としても、ご活用頂けます。
- ◆ 但し、テーマ・内容によっては、十分に集客できない場合もございますので、予め事務局にご相談ください。
- ◆ 研究発表会を企画されたい方は、本会の賛助会員(p3参照)としてのご入会を検討ください。

准会員制度(総会資料:参考)

1. 趣旨・背景：①オンライン報告会・勉強会の開催が当会の中心的となってきたが、当会の活動をより多くの会員に広げて活性化させたい。②現役世代の参加が相対的には少ないなか、現役世代に対しても刺激的、魅力的な活動を提供したい。③世銀での職務経験や識見の高い会員がおられるので、いままで行えなかった、世銀等国際機関を目指す若手人材への発信も行う会としたい。④著名な講師を招いて講演をして頂いた後、講師の方々との交流をフォローアップしさらに深めたい。

2. 決定：上記の趣旨を踏まえて、「**総会での議決権を伴わない**」会員（准会員）の制度を立ち上げ、活動を活性化する。具体的には、本会会則第4条第2項「本会に名誉会員及びASSOCIATE MEMBERを置くことができる」とあるところ、Associate Memberの具体化として「准会員」制度を発足させる。

3. 准会員の種類

- ① **客員会員**：本会のために講師として参画頂く等、具体的な協力を頂いた方(世銀での職務経験の有無を問わない)に幹事会決定にて客員会員としての地位を付与できるようにする。当初2年間は会費無料、2年経過後も入会金無、年会費3千円で更新可能、会費前納割引制度(10年)も利用可とする。
- ② **名誉客員会員**：客員会員対象の中でも特に並外れた業績のある方には、名誉客員会員の地位を付与できる。会費の徴収はしない。但し、認定は幹事会の全会一致による。
- ③ **賛助会員1**：世界銀行等の国際機関に就職希望のあるなどグローバルな活動を志す方(18歳以上35歳以下)には、入会金なし年1000円で賛助会員として参加できる。最低本会員1名の推薦による。但し、この会員には、本会員名簿の配布は行わない。なお、35歳以下は入会時のみの制限であり35歳を過ぎても会員を継続できる、但し35歳超は年会費3000円/年。
- ④ **賛助会員2**：正会員の紹介を前提に、35歳超の方で世銀G、開発、当会の活動に興味のある方は、年会費3000円にて活動に参加できる。入会金なし。

4. 運用の開始：2023年7月7日総会承認後直ちに。但し、①②の認定対象は2020年1月に遡及できるものとする。

(注) 以上、2023年7月7日(金)および2024年7月5日(金)に開催された会員総会にて審議・決定・改訂済み。

現在の幹事会

顧問 : 浅沼伸爾
顧問 : 阿部義章
会長 : 安間匡明
幹事 : 川口幸一
幹事 : 児島力
幹事 : 濱口治孝
幹事 : 岡本有子
幹事 : 黒田次郎
幹事 : 菊地邦夫

総括・運営全般・Bulletin寄稿
総括補佐・監査
企画一般・特命事項
運営助言
運営助言
特命事項
1818 Societyとの調整

ありがとうございました。
賛助会員としてのご入会あるいは勉強会講師のご検討をよろしくお願いいたします。